

SA 吹田 通信 第23号

2005年4月

発行 SA 吹田 事務局 〒565-0806 吹田市檜切山21-D-808

TEL&FAX 06-6876-1659

2005年度がスタートします

前会長 丹羽 史朗

4月25日(日)北千里公民館でSA吹田の定時総会が開催され、全ての議案が原案通り承認されました。これにともないまして会長職を武内信憲さんに引き受けていただき、私はもう暫く理事として連協に係わっていかねばと思っています。ところで、総会でご指摘のありましたように、以前は月1回ブロック会議があったよとか、バス旅行が年一回あったよというお話があると、やはりコミュニケーションを図り団結してゆくためには、いろいろな手法を駆使していかねばならないと思います。私が会長の時には実現できなかったことを、新しい体制に押し付けるのはどうかと思いますが、これからの課題として予想外の会員減を防ぐ為には毎月の会報発行や役員会に加えて会員対象の定例会を持つのも一つの方法かもしれません。

また、イン吹田いきいき歌体操、はじめ歌体操のグループでは、すでにSA修了生以外の会員を含めて活動なさっているとのことでした。いま、SA吹田の会員資格は「SA修了者」に限定していますが、歌体操とおもちゃ作りの二本の柱には一般市民の方の参加を大いに募っていきいし、その方々をSA吹田のメンバーに正式に認められるような会則改正の方向も考えておかねば、というように思います。「まだ3年だから、もう少し続けたら」というお言葉もいただきましたが、同じ人が何年にもわたってリーダーを務めると、どうしてもマンネリに陥り、運営が停滞しがちです。そのため、SA吹田の会則では役員任期は「最長2年」としていましたが、2002年度は再スタートの年だからということで3年会長を務めました。しかし、もう潮時です。幸い後継者には相応しい方が何人もいらっしゃいます。期の古い者はだんだんに世代交代をしていて、新しい修了期の方に、のびのびと活躍していただきたいと願っています。

SA吹田 2005年度役員

会 副 総 会 広	長	武内 信憲 (15期 国際交流)	
	長	奥谷 英夫 (16期 国際交流)	河内 義明 (17期 地域活動)
	務	奥谷 英夫 (副会長兼務)	佐藤 卓士 (17期 国際交流)
	計	宮浦 ミネ子 (16期 地域活動)	
企 画	報	大野 宣子 (16期 世代間交流)	中内 和恵 (16期 世代間交流)
		松川 裕 (17期 地域活動)	
	画	丹羽 史朗 (12期 国際交流)	三好 桂子 (13期 地域活動)
		奥 正昭 (14期 世代間交流)	佐藤百合子 (10期 福祉ボランティア)
監 査		奥谷 博 (15期 福祉ボランティア)	八木 秀雄 (16期 世代間交流)
		大平 節子 (16期 国際交流)	櫻井 辰一 (17期 世代間交流)
		阿部 まり (17期 福祉ボランティア)	
		岩城 延重 (13期 福祉ボランティア)	安藤 為彦 (16期 国際交流)

「やまびこ」と「やさしい日本語」北千里で二教室を開催

4月から「やさしい日本語教室」スタート

奥谷 英夫（SA16期）

4月7日の第一木曜日に「やさしい日本語」北千里教室を開講しました。会場は北千里公民館で、講師はSA16期の国際交流専攻コースを修了した吹田、茨木、堺に居住する8名で、全員日本語ボランティア講師になることを目標に研修会や通信教育等で研修を積み重ねてきました。日本語専門学校の講師のようなプロと同じレベルの指導は無理ですが、費用も安く（1ヶ月2000円、月2回）、分かりやすく、親切、丁寧に教える教室を目指しています。開講初日は4人の外国人が受講しました。インド、パキスタン、ベトナム、中国の4カ国の成人男女です。女性3名はいずれも日本人男性と国際結婚した方で、来日した時期により日本語の会話能力はまちまちですが、私たち講師が事前に提出していただいている書類とご家族のコメントを参考にして日本語の習得レベルを判断し、各自違ったレベルから指導を始めました。全員熱心に講師の話に耳を傾け、講師と交わす日本語会話の音が部屋中に響き渡りましたが、お互いに自分たちの会話練習に熱中し、他人の声は気にせず、授業は進められました。

一部の生徒の子どもさんやお母さんも同席し、外国人のお嫁さんの横に座り、会話練習を手助けされる姿は国籍の壁を越えた人間愛を感じさせられました。また、私たち教室には幼児が退屈した場合に備えて、幼児の世話をするボランティアもおりますので、幼児を同伴されても受講が可能です。日本語指導を必要とする外国人が地域に何名ぐらいおられるかはわかりませんが、皆さんの近所で日本語指導を希望している外国人がいたり、聞いたりされたら、連絡をお願いいたします。チラシを送付または電話でこちらから連絡を差し上げます。但し、講師の人数の関係で、すぐにお入りいただけない場合もあります。「やさしい日本語」北千里が外国人との草の根国際交流の一助になればと願っています。

桜の下で「やまびこ」を開催

「サポート吹田16」が昨年5月から始めた国際交流活動「やまびこ」の第12回目の今回は千里北公園に会場を移し開催しました。4月14日は快晴で、散り始めた桜の花が風に吹かれて舞い散る中での花見も風情を添えてくれました。当日は外国人4名とゲスト1名、会員15名が参加しましたが、外国の方にお花見の雰囲気を経験してもらえたことが何よりの収穫でした。桜の木の下で輪になり、おもちゃ作りを指導し、日本の歌「桜」「静かな湖畔」「かえるの歌」「幸せな手をたたこう」などを全員で身振り手振りを入れて歌い、その後外国の方にはそれぞれの国の歌を1曲ずつ歌っていただきました。歌の後、パキスタンのユーサフさんに、3月13日に開催された吹田市国際交流協会主催の第8回日本語スピーチコンテスト（7カ国10人出場）で見事に優勝したスピーチ「私のふるさと」を披露していただきました。日本語を勉強初めて8ヶ月にも



もかかわらず、流暢な日本語と話の内容に拍手喝采でした。昼食の後は、数字を当てるマジックに挑戦し、最後に種明かししてもらい、会場を後にしました。

「やまびこ」の活動は、毎月第2木曜日の午前中に、北千里公民館で開催し、会話は日本語です。毎月、日本文化の紹介をしており、5月は端午の節句、鯉のぼりを紹介します。SA吹田の会員の方はお気軽に覗いてください。

(^o^) 吹田市立少年自然の家 (近江今津) でドリームネット里山ツアー

新地 秀生 (S A 1 5 期)

4月2日(土)～3日(日)と琵琶湖畔の吹田市立自然の家に行きました。阪急南千里駅に9時集合して、京都や高槻からのメンバーの友達なども揃ったところで中型観光バスに乗り名神高速道路を走って、桂サービスエリアで最初の休憩。湖西の鯖街道沿い朽木の市場にあるお店で鯖寿司などのお土産を買ったあとは、宿舎へ直行。昼食後は地元の「少年自然の家協力会」の方々と交流会をしました。阪口吹田市長からの「吹田の水源である湖西の自然環境保全に尽力されている」ことへの感謝のメッセージ文をドリーム・ネット田邊代表から協力会の代表にお渡ししました。お互いのメンバーの自己紹介の後はメンバーの林郁子さんのマジックが披露されました。また、からくり扇子のおもちゃ作りを林さん村上さん大西さんの指導で協力会のメンバー全員で完成させることができました。糊付け部分を間違ったりもしましたが、完成したときは孫や子どもへのよいお土産ができた大変よろこんでくれました。みんな緊張して



た、からくり扇子のおもちゃ作りを林さん村上さん大西さんの指導で協力会のメンバー全員で完成させることができました。糊付け部分を間違ったりもしましたが、完成したときは孫や子どもへのよいお土産ができた大変よろこんでくれました。みんな緊張して

て肩がこったところで、地元の盆踊りを教えてもらってメンバー一同何とか一緒に円陣を組んで躍るところまでいきました。夕食の後は体育館で竹内さんの指導で1時間ほど歌体操に挑戦し汗を流しました。翌日はクラフト実習でコースターや置物用に思い思いに自然の家の焼印を押しました。去年は海津大崎の桜は同時期で満開でしたが今年はいいにくい硬い蕾でした。帰路は長浜のガラス館を見学してこのたびの総会を兼ねた1泊旅行も無事修了しました。

\ (^o^) / 第3回歌体操研究『歌体操フェスティバル』に参加して \ (^o^) /

岩城 延重 (S A 1 3 期)

3月31日(木)梅田東生涯学習ルーム体育館にて午後1時30分より4時まで26グループ約330名が参加して歌体操フェスティバルが開催されました。最初はみんなで歌う「幸せワルツ」を全員で合唱、次に深呼吸と指体操、最後は高齢者福祉施設向け歌体操の発表と続きました。

第1部は主として、障害者向けということで、椅子を使用しての歌体操を明るく楽しく日ごろの成果を発表できることの喜びに溢れていました。見学者は、全て仲間同志であり、教材として、同じように歌体操の振りを学んでいる人たちも多く和やかな雰囲気の中、プログラムは進みました。一般に公開されていない大会なので、演技者は固くならず、気楽に発表できるのがよかったようです。私はみのりの会で「ずいずいずっころばし」を第1部で、第2部では「心のかたち」を演技いたしました。「ずいずいずっころばし」は、普段施設でよく実施いたしております歌体操でしたが、「心のかたち」は亥の子谷コミセンで2回程度練習をただけでした。上手にできたか等の判定は当日の仲間同志がしていただいたことと思います。

それに致しましても、吹田の歌体操は誇れるものと確信いたしました。全26チーム中なんと吹田が12チームの出場がありました。(ただし重複参加あり実質は6チーム92名)

参加チーム名と代表者・歌体操曲名と参加人員は下記の通りです。(敬称略)

みのりの会 (佐藤百合子)・・ずいずいずっころばし・・12名
" (")・・心のかたち・・・・・12名
吹一グループ(唐崎キミ子)・・手のひらを太陽に・・・・21名
" (")・・愛燦燦・・・・・21名
吹三長生会 (")・・花・・・・・16名
東いきいき歌体操同好会(掘端孝子)・ひばりの花売り娘・・9名
" (")・・大きな古時計・・・・・9名
歌体操こだま(橋本一江)・・丘を越えて・・・・・13名
" (")・・さくら・・・・・16名
吹三婦人会 (唐崎キミ子)・・古都逍遙・・・・・18名
" (")・・若者たち・・・・・16名
" (")・・富士の山・・・・・18名

(参加人員には地域の住民の方も含まれます)

当日は、天気も良く桜も咲き始めるという時候で、日頃の施設で実施している歌体操と違い、大阪府内のチームが結集してのフェスティバルで明るい歌もあり、ユーモア溢れる歌もあり、明るく楽しく出来ました。歌体操をやっていてよかったと実感いたしました。帰路は皆さんと一緒に“ワイワイ”“ガヤガヤ”のお茶を飲んで解散しました。

SA吹田 活動予定表(5月~6月)

5月5日(木)吹田市こども野外カーニバル おもちゃ作り千里北公園 10時~15時
5月8日(日)垂水会館40周年記念祭 おもちゃ作り 12時~14時(集合11時半)
5月12日(木)日本語を知ろう・学ぼう・お話しよう「やまびこ」 10:00~12:00
5月14日(土)吹田市国際交流プラザ メイシアター3F和室おもちゃ 10時~16時
5月19日(木)やさしい日本語 北千里教室 10:30~12:00
5月20日(金)SA吹田役員会 南千里公民館 13:30~16:30
5月22日(日)第7回吹田ボランティアフェスティバル 吹田市役所駐車場
5月23日(月)わくわくタイムおもちゃ館 千里第2小学校 14:30~15:30
5月29日(日)ミニ文化交歓会 亥の子谷コミュニティセンター 11時~16時
6月2日(木)やさしい日本語 北千里教室 10:30~12:00
6月9日(木)日本語を知ろう・学ぼう・お話しよう「やまびこ」 10:00~12:00
6月11日(土)おもちゃ作り市民塾 北千里公民館 10:00~12:00
6月13日(月)第4回懐かしい歌声の集い 南千里市民センター 14:00~16:00
6月16日(木)やさしい日本語 北千里教室 10:30~12:00
6月20日(月)わくわくタイムおもちゃ館 千里第2小学校 14:30~15:30

【SA吹田通信4月号】と一緒に【15周年記念特集号シルバー通信(35号)】と【SA吹田総会議案書】(総会欠席の方)を配布しています。

編集後記 SA吹田の総会への出席ありがとうございました。新しい役員が決まりました。総会でのご意見を今後役員会でよく検討して再出発をしたいと思います。行事予定等できるだけ情報を掲載してゆきますので各行事への参加をよろしくお願いいたします。15周年記念号ではページ数が限られて十分掲載できなかったものにつきましては、シルバー通信や連携ホームページ(<http://sa-renkyo.com>)へ原稿をお寄せください。